

主催 かわさき市民アカデミー

フェスタ・SDGs フォーラム オンライン 気候変動 —今ここにある危機

参加費 無料
事前申込 受付中

開催日 2022年11月19日(土) 13時～16時30分

(公財)東京応化科学技術振興財団助成事業

第1部 基調講演 「気候危機のリスクと社会の大転換」

講師 東京大学未来ビジョン研究センター教授、国立環境研究所地球システム領域上級主席研究員、

江守 正多先生

第2部 シンポジウム

シンポジスト

江守 正多先生(東京大学未来ビジョン研究センター 教授)

森澤 充世先生(一般社団法人 CDP Worldwide-Japan ディレクター、理事
PRI シグナトリー ジャパン・シニアリード)

江原 誠 先生(森林総合研究所 生物多様性・気候変動拠点 主任研究員)

コーディネーター

蔵治 光一郎先生(東京大学 教授、かわさき市民アカデミー 環境とみどりコーディネーター)

申込方法

参加希望の方は、『かわさき市民アカデミーホームページ』のフェスタからお申込みください。

問い合わせ先 かわさき市民アカデミーSDGsフォーラム実行委員会

住所：川崎市中原区今井南町 28-41 電話:044-733-5590(平日 10時～16時) FAX:044-722-5761



ご登壇の先生方の紹介とメッセージ



江守 正多 (えもり せいだ)

東京大学未来ビジョン研究センター 教授
国立環境研究所 地球システム領域上級主席研究員、

人類の化石燃料燃焼を主な原因とする気候変動は、人類の文明を脅かす危機であるという見方をする人が世界で増えてきました。日本人の多くは、現状でこの危機に向き合えていません。この危機の克服に必要なのは「我慢」ではなく、前向きな社会システムの大転換だということを、多くの人に理解してほしいです。



森澤 充世 (もりさわ みちよ)

一般社団法人CDP Worldwide-Japan ディレクター、理事
PRI シグナトリー ジャパン・シニアリード

気候変動は農作物への影響、原材料の調達、企業の操業に影響を与えて経済を脅かすリスクです。この気候変動は動植物あらゆるものに影響を及ぼしています。これは人的活動が要因で私達自身の行動が急務です。国内で再生可能エネルギーを増加させることにより、気候変動問題だけでなく経済性、安全保障への対応にもなります。



江原 誠 (えはら まこと)

森林総合研究所 生物多様性・気候変動研究拠点 主任研究員

農業や林業等の土地利用セクターからの人為的な温室効果ガスの年間排出量は世界の総排出量の約 22%に相当します。そして、その排出の大体半分が森林減少による排出となります。このため、気候変動を緩和するためには森林減少を止めることも重要です。また森林を保全することは、SDGs 目標 15 にも貢献します。



蔵治 光一郎 (くらじ こういちろう)

東京大学 教授、かわさき市民アカデミー 環境とみどりコーディネーター

1972年、ローマ・クラブは、経済成長に自らブレーキをかけて安定させる以外に地球人類の持続可能な未来はない、という予測を発表した。それから 50 年が経過し、気候変動、生物多様性喪失、窒素・リンの循環の 3 項目は、すでに地球の限界を超えていることが示された。しかし世界の指導者は、経済成長を続けながら科学技術による解決を目指すのか、経済成長に自らブレーキをかけるのか、態度を決めかねているように見える。論争している間に時間だけが過ぎていき、残された時間は日々少なくなっている。

次回、SDGs 講演会開催決定！ 12月17日(土) 13時30分～

『歴史的な建築・町並みの保存・修復・復原と SDGs』

講師 日本工業大学名誉教授・波多野純建築設計室代表 波多野 純先生